

株主優待乗車証発行基準

ご所有株式数		優待乗車証の方式	発行枚数 (6か月につき)	継続ご所有追加発行枚数
1,000株以上	5,000株未満	回数券式(電車) 1枚1乗車(片道)有効	4枚	10,000株以上の各ご所有株式数を 3年以上継続してご所有の場合
5,000株以上	10,000株未満	〃	10枚	
10,000株以上	20,000株未満	〃	30枚	
20,000株以上	35,000株未満	〃	60枚	
35,000株以上	50,000株未満	定期券式(電車)	1枚	
50,000株以上		定期券式(電車・バス)	1枚	

(有効期間は、いずれも12月1日～5月31日、6月1日～11月30日の6か月間)

- (注) 1. 上記の優待乗車証は、当社線*でご利用いただけます。また、ご所有株式50,000株以上の株主様に発行する電車・バス優待乗車証は、当社線*及び京成バス(株)の路線バス(高速バス、コミュニティバス、深夜急行バス、貸切バス等を除く)でご利用いただけます。
 ※北総線各駅(新柴又駅～印旛日本医大駅間)では、株主優待乗車証はご利用になれませんので、北総線区間の運賃を別途お支払いください。
 2. スカイライナー等にご乗車の際は、別途ライナー券をお求めください。また、深夜バスにご乗車の際は割増分の運賃をお支払いください。
 3. 継続ご所有追加発行は、過去3年間(平成23年11月送付分の場合、平成20年9月30日以降)すべての株主優待権利確定日(9月30日・3月31日)において、10,000株以上を継続して所有し、かつ株主番号または氏名・住所が継続して同一である株主様に対し、その期間の権利確定日に所有していた最少株式数に応じて発行いたします。(相続により名義人の方が変更となった場合は対象となりません。)
 4. 株主優待乗車証は再発行いたしません(定期券式の株主優待乗車証をPASMOに移し替えた後、紛失または障害により再発行する場合を除く)。
 5. 他の交通機関への振替輸送のお取扱いはいたしません。



グループ会社優待券

1,000株以上ご所有の株主様に発行

京成ホテル(水戸・犬伏崎)・京成ホテルミラマーレ	宿泊料金の20%割引・レストラン飲食料金の10%割引	優待券枚数 (両施設共通)	8枚
筑波山京成ホテル	宿泊料金の15%割引	優待券枚数	2枚
筑波山ロープウェイ・ケーブルカー	乗車料金20%割引	優待券枚数	3枚
鋸山ロープウェイ	乗車料金20%割引	優待券枚数	3枚
京成トラベル	「メイト」(国内)5%・「ホリデイ」(海外)5%割引 ※その他のバック旅行国内3%・海外3%割引	優待券枚数	4枚
京成バスシステム	旅行代金の500円割引	優待券枚数	4枚
千葉交通旅行社	「ドリームツアー」旅行代金の5%割引	優待券枚数	4枚
和風ファミリーレストラン「京成友膳」	飲食料金の20%割引	優待券枚数	5枚
京成ローザ®	映画館大人入場料金の800円割引	優待券枚数	5枚
リブレ京成	お買物代金2,000円ごとに100円割引	優待券枚数	20枚
京成フラワー	1件2,000円以上のお買物の場合10%割引	優待券枚数	5枚
京成バラ園「ローズガーデン」	入場料金(当日券)の50%割引	優待券枚数	6枚
京成バラ園「ガーデンセンター」	お買物代金5,250円以上で10%割引	優待券枚数	4枚
京成不動産	不動産売買仲介手数料の10%割引	優待券枚数	1枚
京成不動産	リフォーム工事代金の5%割引	優待券枚数	1枚
京成ドライビングスクール	入学金割引	優待券枚数	2枚
成田自動車教習所	入学金割引(普通車)	優待券枚数	2枚
西柏自動車教習所	入学金割引(普通車・中型車・二輪車)	優待券枚数	2枚
帝都ピークルショップ	車検整備コース料金5,000円割引 自動車飯金・塗装代金の10%割引	優待券枚数	2枚
JALイービーシー	成田空港宅配通常料金より1個につき300円割引	優待券枚数	4枚
JALイービーシー	携帯電話レンタル料通常料金の20%割引・ 通話料通常料金の10%割引 ※成田・中部・関西・羽田(国際線ターミナル内)の各空港	優待券枚数	4枚
スーパー銭湯「笑がおの湯」	入浴料50%割引	優待券枚数	10枚

(有効期間は、優待券に記載のとおりです。)



本誌は再生紙、植物油インキを使用しています。



京成 BUSINESS REPORT

株主・投資家の皆様へ

第169期中間報告 平成23年4月1日から平成23年9月30日まで

京成電鉄株式会社



京成ビジネスレポート 第169期中間報告 CONTENTS

株主の皆様へ	1
事業の概況	2
連結財務諸表	5
特集	8
営業エリア案内	10
TOPICS	11
株式に関するご案内	12
会社の概要／株主情報	13

～京成グループ理念～

グループ経営理念

京成グループは、お客様に喜ばれる良質な商品・サービスを、安全・快適に提供し、健全な事業成長のもと、社会の発展に貢献します。

グループ行動指針

- 安全** 私たちは、安全・安心を第一に行動します。
- 接客** 私たちは、あいさつを励行し、お客様の立場にたって行動します。
- 成長** 私たちは、絶えず自己革新し、新たな価値を創造します。
- 企業倫理** 私たちは、すべての人を大切に、法令・規則を遵守します。
- 環境** 私たちは、自然環境に配慮し、行動します。

グループスローガン

いろんな笑顔を結びたい 京成グループ

● 株主の皆様へ



拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

このたびの東日本大震災で被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、ここに第169期上半期(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)の事業概況をご報告するにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

当上半期におけるわが国経済は、東日本大震災及び原子力災害の影響を受けた生産活動や個人消費に一部持ち直しの動きがみられたものの、電力供給の制約や失業率が高水準にあるなど厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなかで、当社グループは、全事業にわたり積極的な営業活動を展開するとともに、より一層の経費削減に取り組むなど、業績の向上に努めてまいりました。

その結果、全事業営業収益は1,120億2千9百万円(前年同期比6.5%減)となり、全事業営業利益は94億2千8百万円(前年同期比13.6%減)となりました。経常利益は、持分法投資利益の減少等により90億7千6百万円(前年同期比26.5%減)となり、四半期純利益は57億8千万円(前年同期比21.8%減)となりました。

当期の中間配当金につきましては、11月8日開催の取締役会決議を経て、1株につき2円50銭とさせていただきますので、ご報告申し上げます。

当社グループはグループ経営理念に基づき、「安全・安心」と、お客様に喜ばれる商品・サービスを提供し、沿線を中心とする地域の発展に寄与してまいります。また、コンプライアンス・リスク管理体制を充実させ、内部統制システムの強化に努めるとともに、さらなる法令・社会規範の遵守及び企業の社会的責任の遂行に取り組んでまいります。さらに、お客様第一主義を徹底し、「BMK(ベストマナー向上)推進運動」を浸透させ、選ばれる京成グループを構築してまいります。

株主の皆様には、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

平成23年12月

代表取締役社長

三枝 紀生

運輸業

鉄道事業では、安全輸送確保の取り組みとして、地震計の増設や高架橋耐震補強工事を推進したほか、デジタルATSについて、設置区間の拡大工事を行いました。また、東日本大震災により被災した一部区間における法面沈下復旧工事を行いました。

電力不足対策としては、本数を削減したダイヤによる運行を行ったほか、駅構内・列車内照明の一部消灯やエスカレーターの一部使用停止等を行いました。なお、運休していた列車については、9月10日にほぼ運行を再開いたしました。

大規模工事については、押上線連続立体化工事において、墨田区内での工事を推進いたしました。

営業面では、成田スカイアクセス開業1周年を記念した乗車券を発売したほか、「下町日和きっぷ」を発売し、沿線への旅客誘致を図りました。



開業1周年を迎えた成田スカイアクセス

バス事業では、一般乗合バス路線において、流山市内及び葛飾区等で新規路線の運行を開始いたしました。高速バス路線においては、東京駅～新浦安地区線を増便したほか、浜松町バスターミナル内にチケットカウンターを開設いたしました。また、新橋～成田線等深夜急行バスの運行を開始いたしました。このほか、東日本大震災の復興を支援するため、緊急支援バスの運行に加え、ボランティアバスツアーを企画・開催いたしました。

しかしながら、東日本大震災及び原子力災害による出控え等の影響により、営業収益は624億2千8百万円（前年同期比5.0%減）となり、営業利益は71億7千6百万円（前年同期比17.1%減）となりました。



ボランティアバスツアーを企画・開催

流通業

百貨店業では、東日本大震災の影響により、フロア限定・時間短縮営業を余儀なくされたものの、各種イベントによる販売促進策を実施し、集客を図りました。

ストア業では、全店統一のチラシ特売「リブレ市」を開始し集客を図ったほか、コンビニエンスストアが堅調に推移いたしました。

以上の結果、営業収益は360億1百万円（前年同期比2.5%減）となりましたが、経費削減により営業利益は7億4千8百万円（前年同期比59.9%増）となりました。



イベントによる販売促進策を実施

不動産業

不動産販売業では、「サングランデ印西牧の原ドアシティ」等の中高層住宅や、成田市公津の杜等の住宅用地を販売いたしました。

不動産賃貸業では、「アビタシオン京成千葉中央」（有料老人ホーム）の賃貸を開始したほか、今年度中の竣工に向け、台東区浅草においてビジネスホテルの建設を推進いたしました。

以上の結果、営業収益は72億1百万円（前年同期比27.1%減）となりましたが、営業利益は18億円（前年同期比11.9%増）となりました。



「サングランデ印西牧の原ドアシティ」を販売

● 事業の概況

レジャー・サービス業

映画業では、「京成ローザ®」全館にて、映写機のデジタル化を実施いたしました。

ホテル業では、近隣地域へのセールスを強化し、新規顧客の獲得に努めたほか、京成ホテルミラマーレにおいてロビーラウンジの改装を実施いたしました。

しかしながら、営業収益は47億3千1百万円（前年同期比22.8%減）となり、2億4千7百万円の営業損失となりました。



ロビーラウンジの改装を実施（京成ホテルミラマーレ）

建設業

建設業では、分譲マンション及びビジネスホテルの新築工事のほか、公共施設工事等を行いました。

しかしながら、営業収益は68億7千2百万円（前年同期比10.8%減）となり、営業利益は1億1千3百万円（前年同期比16.3%減）となりました。

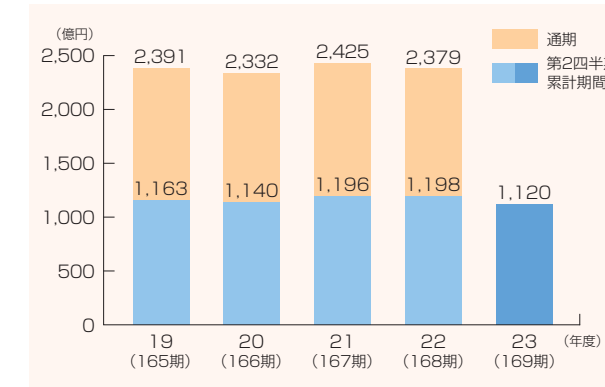


分譲マンションの新築工事

● 連結財務諸表

京成グループ決算ハイライト

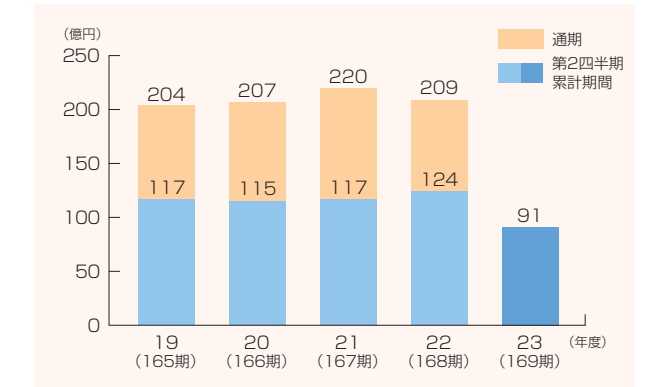
■ 営業収益



決算のポイント

東日本大震災及び原子力災害による出控え等の影響により、営業収益は各セグメントにおいて減収となりました。

■ 経常利益



決算のポイント

営業利益の減少に加え、持分法投資利益が減少したことにより、減益となりました。

主要連結対象会社

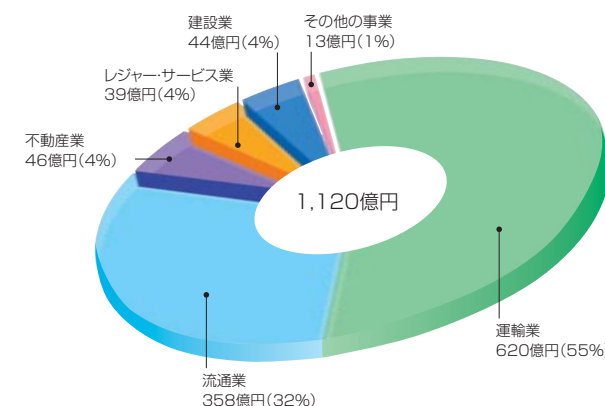
連結子会社

- **運輸業**：北総鉄道(株)、千葉ニュータウン鉄道(株)、京成バス(株)、千葉交通(株)、千葉中央バス(株)、千葉海浜交通(株)、千葉内陸バス(株)、成田空港交通(株)、ちばフラワーバス(株)、ちばレインボーバス(株)、東京ベイシティ交通(株)、ちばグリーンバス(株)、京成タウンバス(株)、ちばシティバス(株)、京成トランジットバス(株)、京成バスシステム(株)、帝都自動車交通(株)、市川交通自動車(株)、成田タクシー(株)、(株)千葉交タクシー、船橋交通(株)、合同タクシー(株)、西千葉タクシー(株)、かずさ交通(株)、三田下総交通(株)
- **流通業**：(株)京成ストア、(株)コミュニティ京成、(株)水戸京成百貨店、京成バラ園芸(株)、(株)コアエルク京成
- **不動産業**：京成不動産(株)、京成ビルサービス(株)
- **レジャー・サービス業**：(株)イウォレ京成、筑波観光鉄道(株)、京成ホテル(株)、(株)千葉京成ホテル、(株)京成エージェンシー、京成トラベルサービス(株)、京成ハーモニー(株)
- **建設業**：京成建設(株)、京成電設工業(株)
- **その他の事業**：京成車両工業(株)、京成自動車工業(株)、(株)京成保険コンサルティング、(株)京成ドライビングスクール

持分法適用関連会社

- (株)オリエンタルランド、新京成電鉄(株)、関東鉄道(株)、小湊鉄道(株)、東京空港交通(株)、成田空港高速鉄道(株)

■ セグメント別営業収益構成比



(注)セグメント別営業収益構成比は、外部顧客に対する営業収益の比率を表示しております。

四半期連結貸借対照表の要旨

科目	当第2四半期 会計期間末	前期末
	(平成23年9月30日現在)	(平成23年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	75,206	73,803
現金及び預金	25,879	22,714
分譲土地建物	19,597	19,061
その他	29,729	32,028
固定資産	636,294	643,089
有形固定資産	494,738	501,353
建物及び構築物	265,732	269,664
土地	139,859	139,640
その他	89,146	92,048
無形固定資産	12,293	13,238
投資その他の資産	129,262	128,498
投資有価証券	107,164	105,956
その他	22,097	22,541
繰延資産	204	229
資産合計	711,705	717,123

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

単位：百万円

科目	当第2四半期 会計期間末	前期末
	(平成23年9月30日現在)	(平成23年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	151,473	165,673
短期借入金	66,956	89,384
1年内償還予定の社債	10,100	100
その他	74,416	76,189
固定負債	376,738	372,526
社債	81,000	91,050
長期借入金	159,563	141,529
鉄道・運輸機構長期未払金	68,963	71,351
その他	67,210	68,594
負債合計	528,211	538,199
(純資産の部)		
株主資本	180,931	176,240
資本金	36,803	36,803
資本剰余金	28,485	28,485
利益剰余金	117,670	112,920
自己株式	△2,028	△1,969
その他の包括利益累計額	△126	△42
その他有価証券評価差額金	87	126
繰延ヘッジ損益	△213	△169
少数株主持分	2,689	2,726
純資産合計	183,493	178,923
負債純資産合計	711,705	717,123

四半期連結損益計算書の要旨

科目	当第2四半期累計期間	前第2四半期累計期間
	(平成23年4月1日～平成23年9月30日)	(平成22年4月1日～平成22年9月30日)
営業収益	112,029	119,818
営業費	102,600	108,899
営業利益	9,428	10,918
営業外収益	3,416	5,737
営業外費用	3,768	4,302
経常利益	9,076	12,353
特別利益	965	22,376
特別損失	1,126	23,359
税金等調整前四半期純利益	8,916	11,370
法人税、住民税及び事業税	2,652	3,652
法人税等調整額	422	63
法人税等計	3,075	3,715
少数株主利益	60	263
四半期純利益	5,780	7,391

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

科目	当第2四半期累計期間	前第2四半期累計期間
	(平成23年4月1日～平成23年9月30日)	(平成22年4月1日～平成22年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	12,889	20,200
投資活動による キャッシュ・フロー	△152	△8,320
財務活動による キャッシュ・フロー	△9,325	△13,717
現金及び現金同等物の 増減額	3,411	△1,838
現金及び現金同等物の 期首残高	22,191	25,741
非連結子会社との 合併に伴う現金及び 現金同等物の増加額	2	—
現金及び現金同等物の 四半期末残高	25,606	23,903

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

成田スカイアクセス開業1周年

成田スカイアクセス開業(H22.7.17)から1周年の活動や出来事を紹介いたします。

成田スカイアクセス開業1周年記念について

1周年記念キャンペーン(旅行代理店)

大手旅行会社にご協力いただき「成田スカイアクセス開業、新型スカイライナー運行開始1周年記念キャンペーン」を実施。スカイライナー券をご購入いただいたお客様に、特製うちわやドリンク交換券をプレゼントいたしました。



スカイライナー特製うちわ

1周年記念乗車券発売

成田スカイアクセス開業1周年を記念した乗車券を7月に発売いたしました。記念乗車券は、スカイライナーとアクセス特急車両の写真をデザインした特別台紙に、硬券乗車券5枚をセット。乗車券は、ホームにある駅名看板をイメージしたデザインといたしました。



成田スカイアクセス開業1周年記念乗車券

1周年記念ロゴマーク

成田スカイアクセス・新型スカイライナーの開業1周年を記念しロゴを作成。ポスターなどの広告物に掲載いたしました。



開業1周年を記念した1周年記念ロゴマーク



ブルーリボン賞について

「ブルーリボン賞」とは、前年に営業運転を開始した新型車両の中から、鉄道友の会会員の投票により優秀な車両として選出されたものに贈られる賞です。

ブルーリボン賞受賞

新型スカイライナーが、「2011年 ブルーリボン賞」を受賞いたしました。昨年の「グッドデザイン賞」に続き、今年のブルーリボン賞受賞は、初代スカイライナー以来当社の車両では2度目となります。高速運転によって成田国際空港への所要時間を諸外国と遜色のない水準にし、鉄道友の会会員の多くの支持を集めたことが受賞理由となりました。



ブルーリボン賞記念盾

ブルーリボン賞受賞記念乗車券・受賞記念ネクタイピン

「2011年 ブルーリボン賞」決定を記念して、「ブルーリボン賞受賞記念乗車券」「ブルーリボン賞受賞記念ネクタイピン」を発売。「ブルーリボン賞受賞記念乗車券」は、車両の床に使用した日本の伝統的な柄である市松模様をデザインした台紙に、硬券乗車券4枚をセットにいたしました。



ブルーリボン賞受賞記念乗車券

ブルーリボン賞受賞記念エンブレム

「2011年 ブルーリボン賞」受賞を記念し、山本寛斎氏がデザインしたエンブレムを作成。11月6日から順次新型スカイライナーに貼付して運行を開始いたしました。

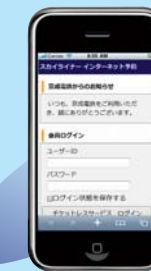


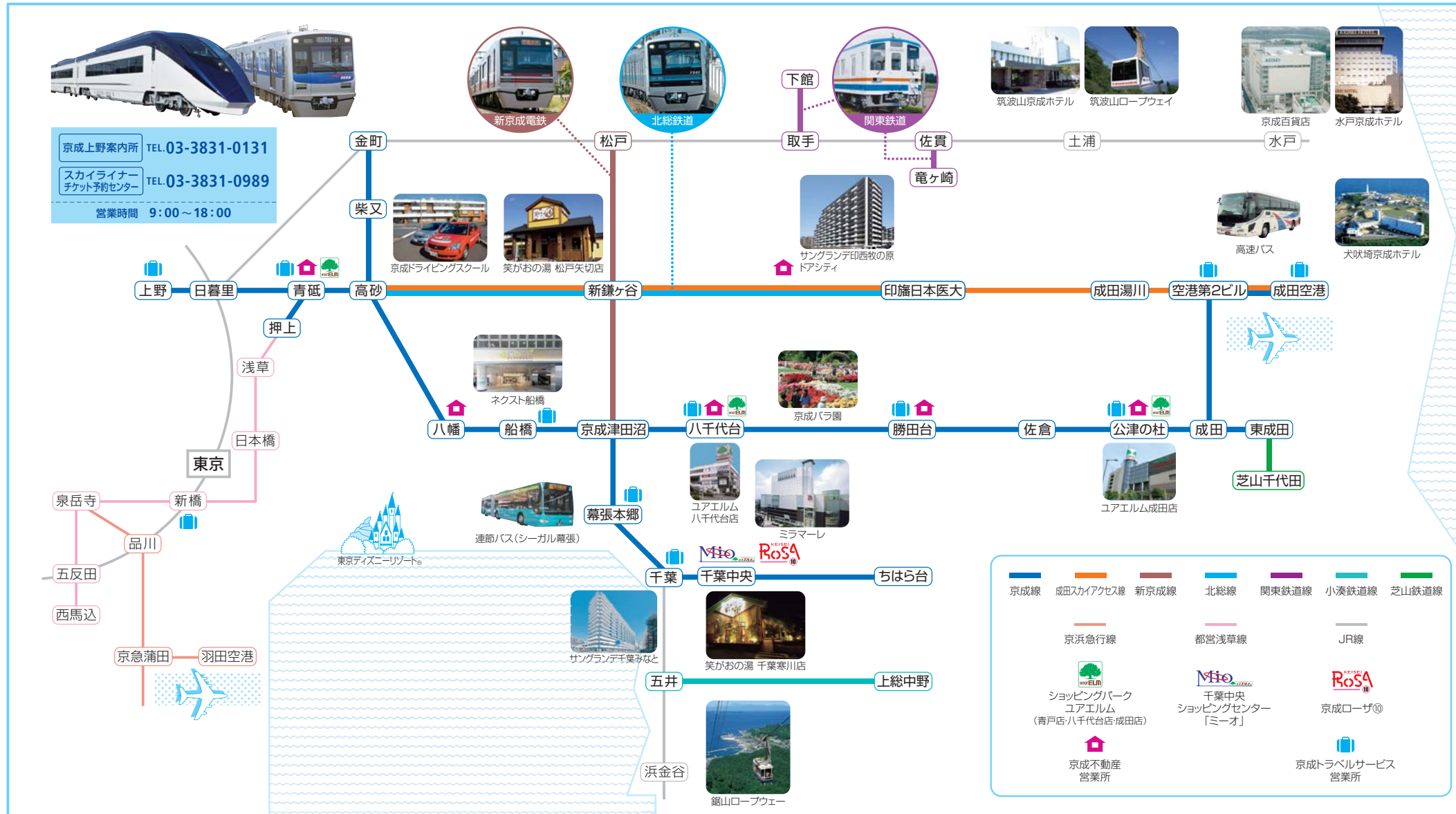
ブルーリボン賞受賞記念エンブレム

スカイライナーチケットレスサービス

スカイライナーチケットレスサービスは、パソコンや携帯電話からインターネットを利用してクレジット決済で購入したライナー券(ネットライナー券)を、携帯電話の画面に表示することにより、乗車駅でライナー券を受け取らずに、そのままスカイライナーやシティライナーに乗車できるサービスです。

平成23年7月からお客さまからのご要望によりスマートフォンでもご利用いただけるようになりました。





TOPICS

当社では、お得な企画乗車券を発売しております。

「下町日和きっぷ」

したまちびより
 H23.7.1～発売
 ●発売金額
 東京都内各駅から 大人500円
 千葉県内各駅から 大人700円～2,100円

当社線都内エリアが、1日乗り降り自由となるきっぷで、東京スカイツリー®をはじめ、上野動物園や柴又など下町の散策にぴったりです。

「成田開運きっぷ」

H23.10.5～H23.12.29発売
 ●発売金額(一例)
 京成上野駅 大人1,450円 (通常往復運賃1,620円)
 京成船橋駅 大人900円 (通常往復運賃1,040円)

当社線各駅から、京成成田駅との間の往復割引きっぷです。成田山書道美術館や成田山参道の70を超える施設・店舗で割引等の特典も受けられます。

「スカイライナー&メトロパス」～海外からのお客様に～

H23.4.28～発売
 スカイライナーの特急券・乗車券の引換券と東京メトロの1日券・2日券がセットになったお得なきっぷです。

各乗車券のお問い合わせは、
京成上野案内所 03-3831-0131 まで

● 株式に関するご案内

特別口座からの振替について

平成21年1月5日から株券の電子化が実施されたことにより、当社を含む上場企業の株券が廃止されております。電子化以降もお手元に株券をお持ちの株主様の株式は、当社が三菱UFJ信託銀行に開設いたしました「特別口座」にて管理されております。

「特別口座」に記録された株式に関しましては、配当金や株主優待を受ける権利など株主様の基本的な権利に支障はございませんが、売却に時間を要するなどの不都合が生じる場合がございますので、**ご本人名義の証券口座への振替**をご検討くださいますようお願い申し上げます。

特別口座に関するお手続きの内容につきましては、以下までお問い合わせください。

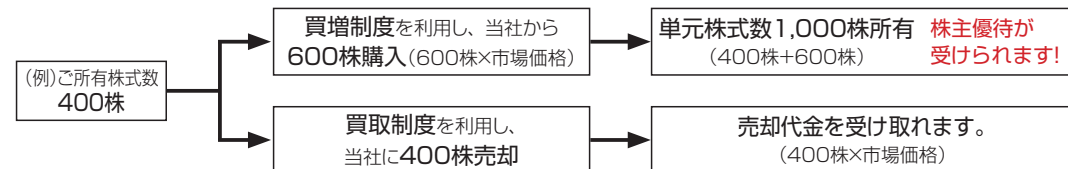
特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社
☎0120-232-711 (通話料無料)

単元未満株式の買増制度・買取制度について

当社の単元株式数である1,000株に満たない株式(単元未満株式)につきましては、株主総会における議決権がなく、株式市場で売買できないなどの制約がございます。

当社では、単元未満株式をお持ちの株主様が、1,000株に足りない数の株式を市場価格にて買増していただける制度(買増制度)および単元未満株式を当社へ売却する制度(買取制度)を設けておりますので、ぜひご利用をご検討ください。



買増制度・買取制度に関するお手続きの内容につきましては、以下までお問い合わせください。

証券会社にてご所有の株主様

各証券会社

特別口座に記録された株主様

三菱UFJ信託銀行株式会社
☎0120-232-711 (通話料無料)

● 会社の概要／株主情報

会社の概要(平成23年9月30日現在)

創 立	明治42年6月30日
本 社	東京都墨田区押上一丁目10番3号 〒131-8555 03-3621-2242(総務人事部総務課)
資 本 金	36,803,841,088円
発行済株式の総数	344,822,371株
主な事業内容	鉄道による一般運輸業/土地・建物の売買及び賃貸業
営 業 キ 口	鉄道152.3km
車 両 数	鉄道客車610両
駅 数	69駅
従 業 員 数	1,724名

取締役及び監査役(平成23年9月30日現在)

代表取締役会長	花田 力	取締役	齋藤 貢
代表取締役社長	三枝 紀生	取締役	小林 敏也
専務取締役	金子賢太郎	取締役	佐藤 賢治
専務取締役	米川 公誠	取締役	眞下 幸人
常務取締役	神子田健博	取締役	松上英一郎
常務取締役	大室 健	常勤監査役	松田 博
常務取締役	宮田 弘幸	常勤監査役	村岡 隆司
常務取締役	酒寄 博司	監査役	松野 信也
取締役	松村 修	監査役	上西京一郎
取締役	飯島 俊一	監査役	宇治原 潔

株主メモ

事 業 年 度	4月1日～翌年3月31日
期 末 配 当 金 受 領 株 主 確 定 日	3月31日
中 間 配 当 金 受 領 株 主 確 定 日	9月30日
定 時 株 主 総 会	毎年6月
株 主 名 簿 管 理 人 特 別 口 座 の 口 座 管 理 機 関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎0120-232-711(通話料無料)
上 場 取 引 所	東京証券取引所(第1部)
公 告 の 方 法	電子公告により行う

※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなりました。従来同封いたしておりました当社専用の「配当金振込指定書」は、同封を取りやめております。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

配当金計算書について

配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受け取りになられる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。